

8. 旭日双光章を受賞して（元静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 現相談役 橋本静子）

元静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長
現相談役 橋本 静子

この度、平成17年秋の受勲で旭日双光章という栄ある勲章を頂戴致しました。全く思ってもいなかったし、勲章なんて全然縁の無いものと考えておりましたので、今もって私などが戴いてよろしかったのか、と正直戸惑っております。

しかし、現実に11月9日に賞詞と勲章を戴き、皇居において直接天皇陛下からお言葉をかけられお話をしたという事実、本当に身にあまる光栄です。

これもひとえに「まどか女性防火クラブ」の仲間の今までの活動に対する協力があってこそと思います。また、歴代の事務局、日本防火協会のご指導の賜と深く感謝申し上げます。

振り返りますと、昭和56年の春に婦人の防火クラブを作らないかと消防本部予防課より話があり、少し毛色が変わっているからやってみるか、と軽い気持ちで引き受け24人でスタートしたのが始まりです。火の用心なんて誰でも知っているわ、なんて取り組んでびっくり、台所から出火の多い事です。コンロからの出火なんて絶対主婦の責任なのに、それが現実では情けない事実と直面し、これは大変、真剣に防火に取り組まなければと強く思ったものです。その後は、防火のPRばかりではなく、救急救護法などにも力を入れて歩んでまいりました。

昭和58年に静岡県婦人防火クラブ連絡協議会が設立され、県下の防火クラブが足並みを揃えてスタート致しました。同じ目的、同じ目標を持ったクラブ員同志、意志の疎通もはかれ楽しいムードで歩み始めました。しかし、全国に出てみて驚きました。静岡県のクラブ数が一番少ないのです。現実に色々と危険性の高い出来事が予想されている中で、主婦たちの自覚が低いという事実と危機感を持ちました。でも、その後の皆様方の努力でだんだんとクラブ員の数が増えてまいりまして、頼もしい限りです。

今後とも、旭日双光章という勲章に恥じない歩みをしていきたいと思っておりますと共に、特に申し上げたいのは、この勲章は私一人だけのものではなく、大勢のまどか女性防火クラブの仲間たちと戴いたと考えております。仲間の協力があつたればこそです。これからも共に手を取りあつて頑張つてまいりたいと思っております。

ありがとうございました。





[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 新春のご挨拶（消防庁国民保護・防災部長 小林恭一氏）](#)
- [2. （財）日本防火協会常務理事新春ご挨拶](#)
- [3. 新潟県集中豪雨・中越地震その後 第2回（婦防リーダーマニュアル作成委員 全国地婦連浅野幸子）](#)
- [4. 平成17年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会（九州・沖縄ブロック）](#)
- [5. 平成17年度自主防災組織リーダー研修会（広島県・富山県）](#)
- [6. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催](#)
- [7. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会](#)
8. 旭日双光章を受賞して（元静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 現相談役 橋本静子）
- [9. 幼年消防用活動資器材の活用について](#)
- [10. 地方からの便り](#)
- [11. 新年挨拶 ガス警報器工業会会長 重盛 徹志氏](#)
- [12. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [13. 日本防火協会からのお知らせ](#)
- [14. 稲むらの火の紙芝居、DVDを作成](#)